

COMMORE LIFESTYLE CATALOG #2

Buddy・Garden・Hobby・Scenery・Others

「今回はコモアの春と秋の風物詩「コモア★スマイル◎フェスタ★」を特集します」

雪が降ったり、夏日になったり、落ち着きのない春ですが、今年もコモア団地の一大イベント「コモア★スマイル◎フェスタ★」の季節になりました。今年4月20日に時計の公園から風の公園までの緑道を会場として開催されました。今回のライフスタイルカタログでは、もはやコモアしおつの風物詩とも言えるこのフェスタを取り上げることとしました。

そもそもスマイルフェスタってどういった経緯で始まったのでしょうか？長らく中心となってフェスタの運営に当たってきた方にお話を伺いました。

Q：開催のきっかけは何ですか？

A：2016年秋に積水グループさんが主催した「まち・ひと・げんき祭」がスタートです。

Q：コモア等の住民が参加するようになったのは？

A：2018年秋のハロウィンイベントから、住民の屋台出店、ステージ参加が始まりました。2019年春のイースターイベントからはフリーマーケットや帝京科学大生による動物ふれあいなども加わりました。その後はコロナ禍による中止期間が続きましたが、2022年秋にコモア★スマイル◎フェスタ★として再開！「コモアをもっと元気と笑顔の溢れる街に！」を目標に、上野原市市民活動支援事業の補助を得るなどして、コモアと周辺の住民および店舗が参加する春のイースター、秋のハロウィンのフェスタとして年々大きな規模となってきました。

Q：今年の春の参加状況は？

A：今年4月20日に開催しました。午前中に自治会の総会とバッティングしましたが、昼には人出も増えて盛り上がることができました。ステージへの出演が12件、飲食店による出店が11店、物販の出店が13店、フリーマーケットが5店、ワークショップが5件、帝京科学大学による動物ふれあいが出店しました。その他に、上野原警察署によるパトカーと白バイの展示、上野原市移住担当、積水ハウグループ、ニチガスによる説明会、さらに子供さん向けにウォークラリーも開催しました。自治会や登録団体、そして学生ボランティアの皆さんの協力もあって、参加規模は着実に増加しています。騒音などへの近隣の皆さんのご容認にも感謝しています。



晴天ではなかったですがお客さんの入りは上々

今年の★スマイル◎フェスタ★イースターのイベントは、残念ながらすっきりとした青空にはなりませんでしたが、参加者多数での開催となりました。

参加された皆さんからのコメントでは、「久しぶりに幼い子供さんと会話ができて楽しかった」「市内のいろいろな飲食店を知ることができた」など、世代間や他地域との会話・交流ができたことを挙げた方が多かったです。高齢の住民からは「歩いてこられる公園でイベントがあるのが良い」「独立してコモアを出た子供たちが遊びに来てくれる」など、元住民の方は「イベントがあると遊びに来る理由になる」「同級生と再会できて嬉しい」と恒例のイベントとして楽しみにされている様子が窺えました。

分譲開始から30年以上経過したコモアしおつでは、住民の高齢化や世代交代に伴う居住者の入れ替えなどもあり、初期の頃に育まれた住民同士の交流や連帯意識の低下が心配されてきています。これは地震などの災害時に共助がスムーズに行えるかどうかにも関わります。その中で、このようなイベントを定期的に開催することは、コモアしおつという街の持つ人の繋がりという魅力を維持しアピールしていく上で重要かつ有効と言えるでしょう。秋にはハロウィンのスマイル◎フェスタも実施されますし、夏にはラジオ体操、盆踊り、御神輿など様々なイベントが続きます。各企画の主催者の皆さんのご尽力に感謝すると共に、住民の皆さんが積極的に参加されることを期待したいと思います。

コモア ライフスタイル カタログは、仲間・庭・趣味・風景・その他のコモアしおつ住民の共通する話題をピックアップすることで、住民間の意見交換を活性化し、魅力的な街を再生することを目指すツールです。年数回不定期に発行し、コモア内に掲示・回覧すると共に、ウェブへのアップを行います。ご興味のある方、ご意見のある方は街並み保全実行委員会編集担当[clsc.editorial@gmail.com]までお知らせください。